

令和2年度 事業活動 計画予算書

～事業期間～

令和2年4月1日～令和3年3月31日

特定非営利活動法人

地域ひといき

理事長 小林 聖司

2020/05/30

令和 2 年度 事業計画書

特定非営利活動法人 地域ひといき

I 事業の実施方針

- ・ 保育所事業では事業所内保育所『大塚わくわく園』において引き続き、進化型組織運営を行い、現場の経営力、運営力の強化に努めていく。また、保護者様や国のバックアップを受けて自治体に向けて認可保育園化を引き続き要望し、粘り強く交渉を行っていきたい。また、市が小規模保育施設事業者の公募を行う場合は、それに応募して、大塚わくわく園の近隣に小規模保育施設の設立を目指す。(公募しない場合は企業主導型としての設立も視野に入れる。)大塚わくわく園では園児数も安定的に確保できる見込みもあり、借入金返済を最低限の目標とし、経営面の強化を見込み、引き続き地域に向けて様々な子育て支援を実施していきたい。また、少しずつ私たちの園の良さが世の中に発信できつつあり、メディアを通じモデル保育園としての発信、全国からの保育士見学研修の受け入れなどを積極的に行っていきたい。全国の保育園の保育の質に寄与したい。
- ・ 学童児支援事業の生活困窮者向け学習塾『サンライズ』については月曜と水曜は塾の形態を金曜日は無料の居場所提供という位置付けで事業を実施する。また、寺子屋的な子ども食堂も継続実施して学童児支援事業の強化を図る。最後に夏のイベントでの小学生キャンプは希望する声もあることから今年度も継続して実施をする。
- ・ 夜間養育事業では代表者の自宅での実施という側面上、利用率に関わらず安定して運営できており、今年度も継続して実施する。ファミリーホーム事業申請については保育所事業での小規模保育施設の設立を先に行い、法人運営が安定してからの展開を考えている。
- ・ カウンセリング事業はエステ型のヒーリングスペースの継続運営をしていく。
- ・ 育児知識等啓発事業では引き続き、『大塚わくわく園』の地域支援交流室において託児付きの子育て講座を各種開催し啓発を拡大する。また、毎年実施している高槻市保健所とイクメン講座について、今年度は取りまとめ役として協働の音頭を取り、NPOと行政との新たな協働のモデル活動を推進して発信していききたい。
- ・ 集い場所の提供事業は引き続き『大塚わくわく園』の地域交流支援室で実施をし、児童支援公益活動団体やママ会、サークルなどにレンタルスペースとして貸出しをする。子育て世代だけでなく高齢者の皆様など地域をどのように巻き込んでいくかは学童児支援事業で実施の子ども食堂を核にコミュニティを広げていき、土日祝に子育てカフェも実施していく。

- ・育児用品リサイクル事業では今年度も寄贈品を受け付けて物品を効率よくリサイクルする。とはいえ、インターネットで販売すると梱包の手間などがあり、それほど安価で販売することも出来ない状況でもあり、集い場所の提供事業などにおいて地域交流室にお越しになられた地域の皆様へ販売品を販促していけるような形も実施したい。
- ・育児支援員仲介事業では主に家庭からの要請で家庭に赴いて、家庭での育児の困りごとや問題点を解決するという形で保育士の専門性を家庭に届けていく形での事業展開を考えているが、本格実施には至っていない。
- ・職業紹介再就職支援事業を継続して実施する。内容は大塚わくわく園へ入園を希望し、かつ同時にお仕事を探されている保護者様を限定として、大塚わくわく園の共同利用企業の求人を紹介して、保育園の決定と同時にお仕事も決まるという形で育児・子育てによってリタイアした保護者様の再就職支援を行っていくものである。企業に対しては相場よりも安い紹介料を頂き、法人自主事業収益の足しにしたいと考えている。

II 事業の実施に関する事項

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 保育所事業

【内容】 保育が必要な乳幼児を預かり、家庭に代わって保育を行う。月極保育50名、一時保育4名の定員で運営を行っていく。また、2名定員の病児保育を実施して、地域の働く保護者様を強力にバックアップしていく。

【実施場所】 大阪府高槻市大塚町5-30-6 『大塚わくわく園』

【実施日時】 全ての曜日 7:00~20:00 (月極保育)
主に平日 8:30~17:30 (一時・病児保育)

【事業の対象者】 当園の利用を希望するご家庭

【収入】 133,682,530円

【支出】 155,132,530円

(2) 夜間養育支援事業

【内容】 夜間の間、児童を養育困難な家庭、緊急時に養育出来ない家庭に対して、低料金にて児童を預かり家庭に代わって養育し、必要な場合は併行して家庭機能の回復に向け支援する。また、行政と調整したうえで、社会的養護の子どもたちについても受け入れを進めていく。

【実施場所】 大阪府高槻市南部地域 『大塚のびのび園』

【実施日時】 20:00~翌7:00

【事業の対象者】 要保護児童及び要養育支援家庭

【収入】 50,000円 【支出】 50,000円

2 収益事業に係る事業

(1) 学童児支援事業（学習塾、各キャンプ）※収益事業

- 【内容】 低料金塾『サンライズ』は通年実施し、居場所提供型の子ども食堂も継続実施をし、支援策を拡充する。また、フリースクール創設への準備を行う。恒例の夏休み期間の小学生キャンプは希望者があれば実施をする。
- 【実施場所】 大阪府高槻市大塚町5-30-6 『大塚わくわく園』 地域交流支援室 近畿圏及び周辺(小キャン)
- 【実施日時】 毎週月・火・金曜日 16:00～20:00 (サンライズ)
7月～8月の平日の1泊2日 (小・中学生キャンプ)
- 【事業の対象者】 就学後から中学生までの児童
- 【収入】 704,000円 【支出】 606,000円

(2) カウンセリング事業

- 【内容】 エステ事業をより大きく宣伝して、保護者様の心の支援を積極的に行っていく。無料のキャンペーンも引き続き実施していく。
- 【実施場所】 ヒーリングスペース『ほっと☆ひといき』
- 【実施日時】 終日 (予約制)
- 【事業の対象者】 施設周辺地域に暮らしエステ、カウンセリングを希望する者。
- 【収入】 500,000円 【支出】 400,000円

(3) 育児知識等啓発事業

- 【内容】 『大塚わくわく園』地域支援交流室において託児付きの子育て講座を各種開催する。また、保健所との協働でイクメン講座を実施。代表著書「仕事も育児も大切なパパに送る本」も随時販売を行う。また、状況に応じて高槻・魂の声聴きたい講座、高槻・子どもたちの家講座などを行う。
- 【実施場所】 『大塚わくわく園』を中心として、高槻市南東地区
- 【実施日時】 年間5講座程度
- 【事業の対象者】 高槻市内に住む保護者や子どもで講座参加を希望する者。
- 【収入】 550,000円 【支出】 150,000円

(4) 集い場所の提供事業

- 【内容】 『大塚わくわく園』の地域支援交流室を貸出し、市内の公益活動団体やママ会、サークルなどに貸し出して、様々な集い場所を作る。
- 【実施場所】 『大塚わくわく園』 地域支援交流室
- 【実施日時】 通年 (7:00～20:00) ※但し、法人で利用しない日に限る。
- 【事業の対象者】 高槻市南東地区に住む保護者や子ども。
- 【収入】 56,600円 【支出】 21,600円

(5) 育児用品リサイクル事業

【内容】 必要のなくなった育児用品を回収、売却によりリサイクルを行う。

【実施場所】 インターネットオークション

【実施日時】 通年終日

【事業の対象者】 育児用品を必要とする者

【収入】 300,000円 【支出】 125,000円

(6) 育児支援員仲介事業

【内容】 主に家庭において、子どもたちの養育に困っている家庭に赴いて、保育士視点から改善点を共に考えられる支援を実施する。

【実施場所】 高槻市内全域

【実施日時】 通年終日

【事業の対象者】 近隣で希望のあったご家庭

【収入】 10,000円 【支出】 10,000円

(7) 職業紹介再就職支援事業

【内容】 子どもを保育園に預けて、再就職したいという主に母親に対して、当法人で連携している企業などを紹介し、男女の雇用機会均等に寄与する。
また、企業からはわずかながらの紹介料を頂き、法人の自主事業収益として他の支援充実に充てる。

【実施場所】 施設周辺および共同利用企業先

【実施日時】 終日（随時実施）

【事業の対象者】 子どもを保育園に預けて、再就職したいという保護者様、求人を募集している企業

【収入】 400,000円 【支出】 100,000円